



近くの人に情報を提供する



○困りごと

- ・新製品の案内のメールを送っても、興味のないユーザーにも配信されてしまう
- ・大量に送信されるメールに興味を失い、広告を見てもらえる頻度が減る
- ・ユーザーも、自分にとって価値のある情報を探しにくくなる
 - せっかくの案内効果が薄れてしまう

○従来のもの

- ・店舗の案内メールに登録したユーザ全員に一方向的に情報を配信
- ・アプリ内の案内では、必要な情報へのアクセスにユーザ操作が必要な情報配信
- ・実店舗の前を通過した人には、案内を届けられない

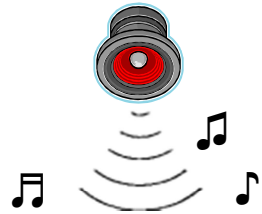
○この発明のメリット

- ・人が集まっているところや、店舗の近くにいる人への情報配信ができる
 - そのまま店舗に誘導できる



○技術の原理

スピーカー



ID ← 音の中にIDを埋め込む

①音波で出力される「**スピーカのID**」を端末が受信



スマホ



②**スピーカIDと端末ID**を送信

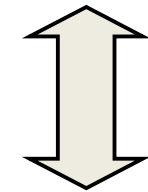
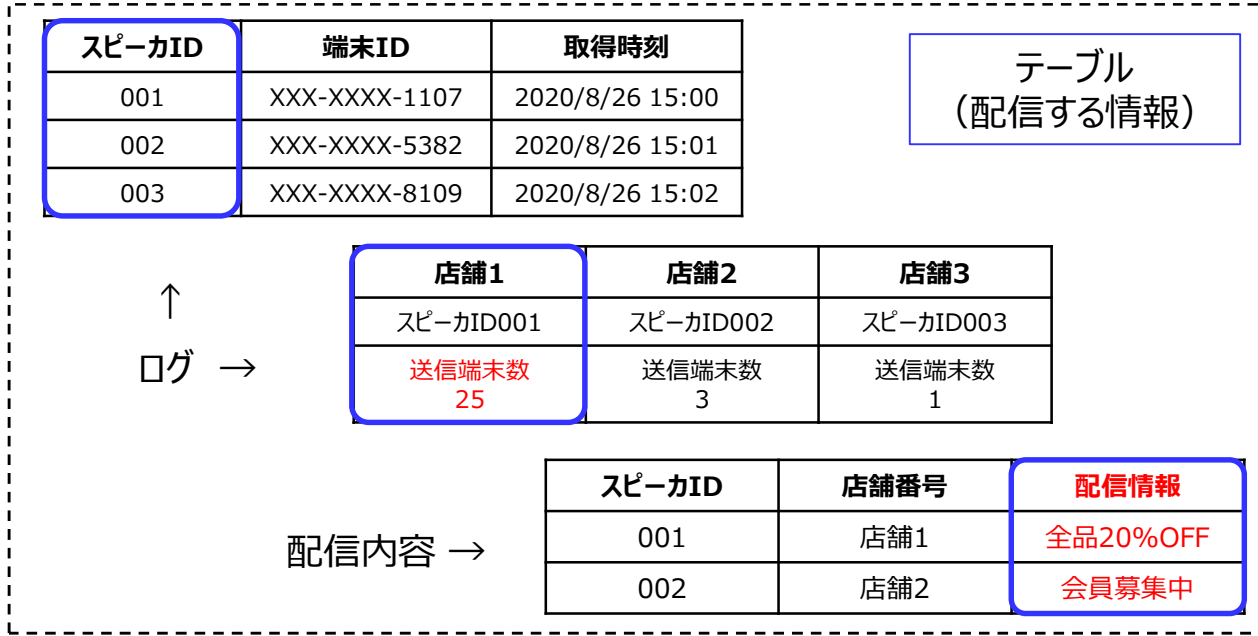


④**スピーカIDの場所**に対応する情報をその端末に配信



③ 送信された情報をもとに、
a) **スピーカIDを送信したスマホをカウント**
b) **配信する情報を特定**

管理用
PC





○利用場面



- ・通過頻度が高い人や、人が集まる場所・店がわかる（スピーカIDの送信が回数で判断）
 - 商品案内、キャンペーンなど効率的な情報配信が可能
- ・配信方法は適宜設定可能。
 - 近隣店舗や他フロアへの誘引等の用途に利用可能

店舗、商店街・ショッピングモール等で活用



○応用場面

- ✓ 「ついで買い」 ……配信情報から「ついで買い」を喚起
- ✓ 行動の分析 …… 行動や人の動きの把握、キャンペーンなどの検討材料に
- ✓ もしものときの ……近くの人に近くの避難場所等を配信
- ✓ スタンプラリー・名物案内 ……店舗に来た人に
- ✓ 過度な集まりの抑制 ……人の密集回避の材料に

○展開先候補

- ✓ 自営業・商店街・小売 ……店舗への呼び込み、商品紹介に
- ✓ 観光・交通 ……広域キャンペーンなどの推進に
- ✓ 自治体 ……店舗から名所・施設などへの誘導など